

<資料3>

農村環境創造基金事業の実施状況について

農村環境創造基金事業の 実施状況等について

富山県農林水産部農村振興課都市農村交流係

令和 8 年 2 月 17 日

富山県農村環境創造基金の概要と令和6年度の取組状況

富山県農村環境創造基金概要

「豊かな自然環境保全」や「都市農山村交流」等の活動の活性化を図るため、基金を造成（造成年度H5～H12）
基金造成額：13億2千万円（負担区分：国1/3、県2/3）
前年度末の基金残高の5%以内で事業を実施（令和5年4月の基金実施要領改正にて3%から5%に引き上げ）

R7年度富山県農村環境創造基金活用状況（表1参照）

- ・R6年度末時点で922,534千円の残高
- ・R7年度の基金を活用した事業費の総額は45,954千円（見込）

R7年度富山県農村環境創造基金活用事業（表2参照）

- （1）豊かな自然環境保全対策
- （2）都市農山漁村交流対策
- （3）県民の意識づくり推進

を目的として各種事業を実施

表1. R7年度富山県農村環境創造基金活用状況

基金造成年度	R6年度末基金残高	令和7年度基金活用事業予算	
H5～H12年度	922,534千円	(1)豊かな自然環境保全対策	20,166千円
		(2)都市農山漁村交流対策	11,750千円
		(3)県民の意識づくり推進	14,038千円
		計	45,954千円

表2. R7年度富山県農村環境創造基金活用事業 単位（千円）

事業名	予算額（基金分）	所管	区分
①棚田保全活動支援事業	750	農村振興課	(1)
②美の里保全活動支援事業	900	農村振興課	(1)
③中山間地域チャレンジ支援事業	3,000	中山間地域支援・移住促進課	(1)
④とやま農業・農村サポーター活動支援事業	1,137	農村振興課	(1)
⑤中山間地域保全パートナーシップ推進事業	1,863	農村振興課	(1)
⑥鳥獣被害防止総合対策事業	12,266	農村振興課	(1)
⑦簡易放牧支援事業	250	農業技術課	(1)
⑧週末とやま農村Life推進事業	4,900	農村振興課	(2)
⑨ふれあい創出地域間交流支援事業	600	農村振興課	(2)
⑩とやま農泊ネットワーク推進事業	6,250	農村振興課	(2)
⑪田んぼの生き物調べ事業	415	農村振興課	(3)
⑫水土里探訪ウォーク	1,493	農村整備課	(3)
⑬とやまの農山村写真展	2,235	農村振興課	(3)
⑭広報誌「ふるさと夢とやま」発行	1,075	農村振興課	(3)
⑮全国広報誌「新・田舎人」購入・配布	210	農村振興課	(3)
⑯美しい農村景観保全活動支援	1,500	農村振興課	(3)
⑰とやま棚田ネットワークHP更新	373	農村振興課	(3)
⑱とやま棚田ネットワーク活動支援	553	農村振興課	(3)
⑲全国棚田サミットへの派遣	254	農村振興課	(3)
⑳全国研修会等への派遣・参加	20	農村振興課	(3)
㉑フォーカスとやまの農山漁村推進事業	5,900	農村振興課	(3)
㉒事業委員会の開催	10	農村振興課	(3)
計	45,954		

令和7年度の各事業取組状況

豊かな自然環境保全対策

県内の農村が有する豊かな自然環境の保全のため、各種保全活動や地域活動に対して支援する。

例．棚田地域保全活動支援事業の実施

耕作放棄地活用、農村体験活動などの棚田保全活動を支援

- ＜対象地域＞ 棚田保全活動を実施することにより集落の活性化が見込まれ、かつ継続的に活動が期待できる地域
- ＜R7実績＞ 県内3地区に支援（氷見市論田地区・熊無地区・小矢部市宮島地区）



農業インターンシップの様子
（氷見市論田）



サツマイモ収穫体験
（小矢部市宮島）

都市農村交流対策

都市農村交流を通じて、都市には無い農山村の魅力を肌で感じてもらい、「関係人口の拡大・深化」を図る。

例．「週末とやま農村Life」の開催

富山県内の特色ある農村体験ができる「週末とやま農村Life」を開講

- ＜R7実績※＞（開催回数） 県内7市町、8地域で開催
- （参加者数） 49名（うち県外から32名参加）
- ※R8.2.21～22開催回見込み値含む



野菜収穫体験の様子
（やまだ村ラボ）



地域の【狩女】から狩猟を学ぶ
（南砺ラボ）

県民の意識づくり推進

県民に対して農村や農村が持つ多面的機能の素晴らしさを普及・啓発し、豊かな農村環境を育む意識を創造する。

例．水土里探訪ウォークの開催

ウォーキングを通じて、土地改良施設の役割や地域の歴史について理解を深めてもらうためのイベント

- ＜R7実績＞（開催日時） 令和7年6月14日
- （開催場所） 入善浄化センター周辺
- （参加人数） 64名



ウォーキングの様子



農地整備事業の
説明を受ける参加者

課題

- ・ **中山間地域**において、各種課題が存在
 - ・ 高齢化や人口減少の進行に伴う担い手減少
 - ・ 農業生産活動や地域コミュニティ機能の低下
 - ・ 多様な地域活動や都市農村交流への支援 等

⇒基金事業の**継続的な実施**と、県内各地で展開されている地域活動に対する**きめ細かな支援**が必要

今後の取組方針

- 1** 中山間地域の有する**多面的機能の発揮**を図るため、**地域資源の保全**やその利活用を推進する。
- 2** **多様な都市農村交流の推進**により、**関係人口の拡大・深化**を図る。
- 3** 新たな総合計画に沿って、多様な地域活動や都市農村交流を支援していく。